［認知症対応型共同生活介護用］

１．　評 価 結 果 概 要 表

作成日　平成20年8月5日

【評価実施概要】

事業所番号	3890100153		
法人名	日本ケアシステム株式会社		
事業所名	**グループホーム　よろこび**		
所在地	松山市堀江町甲２０８２－１　（電話）089-978-7711		
管理者	上岡　益子		
評価機関名	特定非営利活動法人　JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目１－３チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月8日	評価確定日	平成20年8月5日

【情報提供票より】　（平成20年6月28日事業所記入）

(1) 組織概要						
開設年月日	平成18年9月1日					
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人			
職員数	10 人	常勤	5人, 非常勤	5人, 常勤換算	7.5人	
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)						
家賃（平均月額）	35,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる			
敷　　金	有（　　円）	(無)				
保証金の有無 (入居一時金含む)	有（　　円） (無)	有りの場合 償却の有無	有 ／ 無			
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円		
	夕食	400 円	おやつ	100 円		
	または1日当たり	円				
(3) 利用者の概要	（平成20年6月28日現在）					
利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護１	2 名	要介護２	0 名			
要介護３	3 名	要介護４	2 名			
要介護５	2 名	要支援２	0 名			
年齢　平均	81.5 歳	最低	73.4 歳	最高	88.5 歳	
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算						
指定　(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護					
指定　あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護					
届出　あり・(なし)	短期利用共同生活介護					
加算　あり・(なし)	医療連携体制加算					

［外部評価で確認されたこの事業所の特徴］

●法人内のショートステイや有料老人ホームで顔馴染みになった方の入居等もある。入居間もない頃は、職員が気にかけて見守りをされたり、声かけを多くされる等、居場所作り等にも気配りされている。
●毎月ミーティングを行い、全職員で話し合う機会を作っておられる。法人内で食事や感染症対策等の委員会を設け、定期的に知識を深められたり話し合いをされている。
●畑で採れた新鮮な野菜等も使用して食事を作っておられる。又、散歩や入浴の後、水分補給に努められ、10時のおやつ時にはお好きな飲み物を飲んでいただけるよう支援されている。

［質向上への取組状況］

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）

・前回の評価結果を受けて、運営推進会議を開催し、出席者に意見をいただけるよう働きかけられた。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）

・管理者が職員に聞き取りながら自己評価をまとめられた。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）

・運営推進会議をこれまで3回開催されている。運営について説明され、意見をいただいた。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）

・ご家族の来訪時に、「日常の報告のあり方」等についての意見をいただくこともあり、改善できるよう取り組まれている。管理者は、ご家族の声の大切さを職員に伝えておられる。

▼ 日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）

・近所の方が法人の「よろこび農園」を手伝って下さっている。又、ボランティアの方が利用者の話し相手や掃除に来て下さっている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営
1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援
1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をＰＲ!!!

ーサービス向上への３ステップー

【記入方法】
- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居（ユニット）ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

（注） 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について
- ●家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。（他に「家族」に限定する項目がある）
- ●運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。
- ●職　員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- ●チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム
(ユニット名)	よろこび
記入者（管理者）	
氏　名	上岡　益子
評価完了日	平成 20 年 6 月 28 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営					
1．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 　地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	**(自己評価)**		
			その人らしい個性を尊重しながらも家族的な雰囲気で、安心安全な生活の実現に向けた理念になっている。	※	今後は地域の中での生活を意識した理念を検討したいと思う。
			(外部評価)		
			職員で話し合い、利用者が「住み慣れた地域でその人らしく暮らす」という理念が作られている。		理念の実践に向けて、この機会に、具体的に職員で話し合われてはどうだろうか。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 　管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	**(自己評価)**		
			管理者と職員はグループホームの意義を理解しており、理念を共有し実践にむけて日々取り組んでいる。	※	月１回のミーティングを通して全職員が日々理念に添った援助が出来ているか確認している。
			(外部評価)		
			理念を事務所や共用空間に掲げておられる。	※	さらに、全職員が事業所の理念を共有しながら、取り組めるような仕組み作り等も期待される。
3		○家族や地域への理念の浸透 　事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	**(自己評価)**		
			ご家族に対しては、入居時に説明している。また、目につくところに理念を掲げている。	※	今後は、運営推進会議や行事等を通じて地域の方々にも理解して頂けるように取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
2．地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	**(自己評価)**		
			散歩途中で挨拶をしたり、畑の野菜の手入れのことなどで相談にのって頂いている。	※	今後は、もっと気軽に立ち寄ってもらえるような取り組みを全職員で考えたいと思っている。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	**(自己評価)**		
			法人全体として夏祭り等を実施している。 グループホームとしては、避難訓練・消防活動に参加している。	※	自治会や地域の方々とさらに交流をしていきたいと思っている。
			(外部評価)		
			近所の方が法人の「よろこび農園」を手伝って下さっている。又、ボランティアの方が利用者の話し相手や掃除に来て下さっている。	※	さらに、利用者の生活を拡げていくためにも、地域の方達と交流できるような機会を増やしていかれることが期待される。運営推進会議の機会等もさらに活かして、地域との関係を深めていかれてほしい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	**(自己評価)**		
			法人全体として祭り等を行うことにより、地域の人やボランティアの人にも参加して頂いている。	※	今後、グループホーム独自としても役立つことがないか話し合っていきたい。
3．理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	**(自己評価)**		
			外部評価を受けることは、開かれた事業所になるチャンスなので、運営者をはじめ職員一丸となって取り組みたいと思っている。		
			(外部評価)		
			管理者が職員に聞き取りながら自己評価をまとめられた。前回の評価結果を受けて、運営推進会議を開催し、出席者に意見をいただけるよう働きかけられた。		評価結果等をもとに、全職員で、気付かれたことや今後の取り組みの工夫について話し合われてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 　運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議を通して、ご家族や地域の方々の意見をサービスの向上につなげたいと思っている。	※	不定期開催になっている運営推進会議を定期での開催にする予定。
			(外部評価)		
			運営推進会議をこれまで3回開催されている。運営について説明され、意見をいただいた。		管理者は、今後、地域の方達とも活発に意見交換が行える会議を目指していきたいと考えておられ、まずは、事業所のことを知っていただけるよう、サービス評価の項目等も活用しながら伝えていきたいと話しておられた。又、皆が集まりやすい時間帯等の検討もされていた。
9	6	○市町村との連携 　事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市に出向いたり電話にて随時相談している。 市が開催する説明会にも参加し、サービスの質の向上に努めている。	※	包括支援センター主催の事業所連絡会に参加し連携を深めるようにしている。
			(外部評価)		
			市の担当者の方から、外出を積極的にすすめてはどうかというアドバイスをいただいた。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 　管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			管理者は制度に関しての研修を受けている。必要に応じて資料等で説明している。	※	全職員に周知徹底していきたい。
11		○虐待の防止の徹底 　管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			全職員が高齢者虐待防止関連法について学んでいる。 また、防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
4．理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 　契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	**(自己評価)** 事前に利用者本人と家族に会い、十分な説明を行い理解・納得を頂けるよう努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 　利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	**(自己評価)** じっくり時間をとれる夜勤帯などを利用し、「思い」を聴くよう努めている。また、言葉では表せない入居者さんには、表情や行動で読み取るように心がけている。		
14	7	○家族等への報告 　事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	**(自己評価)** 月に１回は電話で近況報告をしている。また、行事等に関する出費は事前に了承を得たり面会時に報告をしている。 金銭管理に関しては、毎月請求の際に明細と領収証を提示している。	※	職員の異動に関しては、面会時に直接お伝えしご理解頂くようにしている。
			(外部評価) 法人全体の通信をご家族に送っておられる。又、電話や電子メール等でも連絡をされている。	※	事業所では今後、利用者一人ひとりについて、日常の様子をお伝えするような手紙を作成したいと考えておられた。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 　家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	**(自己評価)** グループホームの事務所と法人全体の玄関先に意見箱を設置している。ご家族が少しでも意見や苦情を表出できるような体制つくりを心がけている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に、「日常の報告のあり方」等についての意見をいただくこともあり、改善できるよう取り組まれている。管理者は、ご家族の声の大切さを職員に伝えておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
16		○運営に関する職員意見の反映 　運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	**(自己評価)**		
			都度、職員の意見や提案を出し合い、管理者は運営者に報告し、よりよい事業所になるよう努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 　利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	**(自己評価)**		
			入居者の方やご家族の状況や希望に応じて、グループホーム内にとどまらず、法人全体で柔軟に支援を受けられる体制を整えている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 　運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	**(自己評価)**		
			異動や離職時には、後任者に出来る限り支障のない引継ぎを行うよう努め、利用者への配慮を心がけている。	※	職員の異動がなくなるよう努力したいと思う。
			(外部評価)		
			最近、管理者の交替があった。利用者一人ひとりとの関係作りに努め、夜勤も多くされる等、夜間の様子も早めに把握できるよう組んでおられた。又、ご家族や職員との関係も深めていけるよう努めておられた。		
5．人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 　運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	**(自己評価)**		
			研修に関する情報は、全職員に公開し参加できる体制を整えている。	※	参加した研修内容は、全職員にフィードバックしている。
			(外部評価)		
			毎月ミーティングを行い、全職員で話し合う機会を作っておられる。法人内で食事や感染症対策等の委員会を設け、定期的に知識を深められたり話し合いをされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
20	11	○同業者との交流を通じた向上 　運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	**(自己評価)**		
			グループホーム連絡協議会に入っており、今年は「相互研修」にも参加予定である。	※	今後もさまざまな研修に積極的に参加していきたい。
			(外部評価)		
			地域包括支援センター主催の介護保険事業所が集まる会に参加され、各事業所の紹介や意見交換等をされている。	※	さらに、職員も他事業所と交流できるような機会を作っていかれることが期待される。職員の気付きをサービスの向上につなげていけるような取り組みが期待される。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 　運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	**(自己評価)**		
			運営者は、年に２回程度職員の慰安の場を設けることにより管理者や職員のストレスの緩和を図るようにしている。また、随時面談等を実施している。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 　運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	**(自己評価)**		
			勤務についての「自己評価表」を職員個々に記入しており、運営者は把握するように努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 **1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応**					
23		○初期に築く本人との信頼関係 　相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	**(自己評価)**		
			相談があるとご本人・ご家族とも面談し聞き取りしながら安心してサービスが移行できるように努めている。	※	ご本人にとって不安なこと・安心すること等、会話の中から汲み取るよう心がけ信頼関係の構築に努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
24		○初期に築く家族との信頼関係 　相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族に見学に来てもらうことで、少しでも不安の緩和を図るようにしている。また、全職員で情報を共有し安心して頂けるように努めている。		
25		○初期対応の見極めと支援 　相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族の思いや悩み等を傾聴し、職員間でどのような支援が必要なのかを話し合って対応するよう努めている。	※	他の事業所との交流を多く持つことで、本人・家族にとってのよりよいサービスにつながるように努めたい。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 　本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 必要に応じてご本人に体験入居をして頂き、その結果をご家族とともに検討し安心して頂いてから入居して頂くようにしている。 (外部評価) 法人内のショートステイや有料老人ホームで顔馴染みになった方の入居等もある。入居間もない頃は、職員が気にかけて見守りをされたり、声かけを多くされる等、居場所作り等にも気配りされている。	※	今後も体験入居を継続していきたい。
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 　職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一人ひとりの得意なこと・出来ることを全職員で共有しながら、教えたり教えられたりの関係を作るように心がけている。 (外部評価) 職員は、利用者から昔の暮らしのことや料理の作り方を教えてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
28		○本人を共に支えあう家族との関係 　職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	**(自己評価)** 面会に来られた際は、最近の状況などを報告し日々の様子を把握して頂けるように努めている。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 　これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	**(自己評価)** 面会時にはリビングだけでなく居室でも過ごして頂きゆったりくつろいで頂いている。また、ご本人の思いなどもお伝えし、ご家族とのよりよい関係つくりの支援に努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 　本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	**(自己評価)** 入居された後も馴染みの方や場所との関係を継続出来るように、ご家族の協力もお願いしながら支援に努めている。	※	ご家族にも負担にならない範囲で協力を頂きながら、馴染みの関係を継続していきたいと思っている。
31		○利用者同士の関係の支援 　利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	**(自己評価)** 職員が間に入ったり、見守ったりして入居者同士の関係を支援するように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み 　サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	**(自己評価)** 契約終了後も、法人全体として多方面からの支援を継続しながら関係を維持するように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 　一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	**(自己評価)**		
			日々の会話や暮らし方の中からお聞きしたり、面会時等にご家族からもお聞きしながら経過の把握に努めている。		
			(外部評価)		
			職員は、日々の中で利用者にご希望を聞く等されている。	※	現在、利用者一人ひとりについて、思いや意向についての情報を収集している途中である。さらに、利用者主体のケアを実践するためにも、アセスメントの充実が期待される。
34		○これまでの暮らしの把握 　一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	**(自己評価)**		
			入居前には、訪問・面会をしてご本人やご家族、また医療や福祉サービスの方から聴き取りをしている。		
35		○暮らしの現状の把握 　一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	**(自己評価)**		
			日々の会話や暮らし方の中からお聞きしたり、面会時等にご家族からもお聞きしながら経過の把握に努めている。	※	今後は、センター方式を活用しながら「出来ること」を把握していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 　本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	**(自己評価)**		
			ご本人からお聞きしたり、ご家族面会時にお聞きしながら、職員の意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			職員の意見等を採り入れ、介護計画を作成しておられる。	※	さらに、今後、介護計画を実践につなげていくために、書式の工夫等も検討されていた。又、ご家族にもさらに意見や希望を出していただけるような働きかけの工夫や、さらにご家族にもわかりやすい計画内容や表現に努めていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 　介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	**(自己評価)**		
			ご本人やご家族の希望を取り入れながら、期間に応じた介護計画となっている。また、体調の変化に即した見直しをしている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、3か月ごとに見直しをされている。	※	現在、状態変化時の計画の見直しが遅れがちになっている。今後、職員がケアにつなげていきやすく、ずれのない計画を作っていきたいと考えておられた。
38		○個別の記録と実践への反映 　日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	**(自己評価)**		
			個別の介護日誌で職員全員が把握している。他に申し送りノートにも記入し把握出来るように努めている。		
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 　本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	**(自己評価)**		
			法人全体として、柔軟な支援が出来る体制作りに努め、急な受診等の支援もしている。		
			(外部評価)		
			併設のデイサービスの活動に参加されることもある。ご家族のご都合に合わせて病院受診等も同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 　本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	**(自己評価)** 入居者の方が安心して生活出来るように、民生委員さんや近隣住民の方の協力が得られる体制作りに努めている。		
41		○他のサービスの活用支援 　本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	**(自己評価)** 地域の事業所連絡会に参加し、ご本人の希望により添えるように努めている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 　本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	**(自己評価)** 運営推進会議に参加して頂くことで、よい関係が構築できるようになったと思う。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 　本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	**(自己評価)** ご本人・ご家族の希望をお聞きしながら、対応している。ご家族での受診が出来ない場合は、訪問診察を利用したり、ご家族の同意のもと職員が代行し、今までの関係が継続出来るように配慮している。 **(外部評価)** ご家族がご本人の病院受診に付き添われる方には、ご家族に事業所での様子を伝え、又、受診時には、様子を聞くようにされている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 　専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	**(自己評価)** 主治医と相談しながら、必要に応じて専門医の受診が出来るように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
45		○看護職との協働 　利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	**(自己評価)** ２ヶ所の提携医療機関から、訪問診察に来てもらったり、定期受診を支援することで、主治医や看護職と連携がとれる体制になっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 　利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	**(自己評価)** 入院時には職員が面会に訪問し、ご家族とも連携しながら出来るだけ早く退院できる体制作りをしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 　重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	**(自己評価)** 体調や状況の変化に応じて、ご本人・ご家族と相談しながら、事業所として出来る限りの対応をしたいと思っている。	※	今後、看取りの指針を作成し、事業所としての対応を全職員が共有するようにしたい。
			(外部評価) 現在、看取りや重度化時のケアについて、ご本人、ご家族の希望を聞き取り途中である。	※	事業所では今後、利用者ご家族の希望があれば、事業所での看取りも検討していきたいと考えておられる。さらに職員で話し合いや勉強を重ね、チームで支援できるような体制を作っていかれることが期待される。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 　重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	**(自己評価)** 事業所としての限界点を見極めながら、ご本人・ご家族の意向を最優先したいと思っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 　本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	**(自己評価)** 今までの生活がスムーズに継続出来るように日常生活の様子や、特に配慮の必要な場面においての支援の方法を記録でお渡ししている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1. その人らしい暮らしの支援** **(1) 一人ひとりの尊重**					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 　一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	**(自己評価)** 一人ひとりに合わせた声かけを心がけている。必要に応じて職員の意識の向上を図るように取り組んでいる。 **(外部評価)** 利用者と職員の信頼関係を大切に考えておられる。職員は、利用者同士の間に入り、共同生活がスムーズになるよう配慮されていた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 　本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	**(自己評価)** 日常の関わりを大切に入居者の方と職員の信頼関係を築きながら、一人ひとりが意思決定できる場面を作るように努めている。		
52	21	○日々のその人らしい暮らし 　職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	**(自己評価)** 入居者の方の生活リズムや体調・希望に配慮して対応するようにしている。 **(外部評価)** ご家族の来訪時には、ご本人がご家族と過ごす時間を大切に支援されている。散歩の時間やコースを利用者同士で相談し、決めておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 　その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	**(自己評価)** 日々の着替えや入浴後の衣類はご本人の意向で決めて頂いている。必要な方は、職員がお聞きしながら支援を心がけている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 　食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	**(自己評価)** 職員は同じテーブルで食事をしながら、一人ひとりの状況に合わせてさりげなく介助するようにしている。 **(外部評価)** 利用者と職員で食事を作り、一緒に食べておられる。調査訪問時「よろこび農園」で採れた野菜を使う等、新鮮な野菜をふんだんに使用したメニューとなっていた。	※	おいしい食事をさらに楽しむための工夫について、全職員でアイデアを出し合ってみてはどうだろうか。 又、利用者へのかかわり方についても点検する機会とされてはどうだろうか。
55		○本人の嗜好の支援 　本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	**(自己評価)** 一人ひとりの希望をお聞きしながらお出しするようにしている。希望を伝えることの出来ない方は、ご家族にお伺いするようにしている。		
56		○気持よい排泄の支援 　排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	**(自己評価)** 一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握するように心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 　曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	**(自己評価)** 入浴を嫌がる方には、髭剃り後にさりげなく声かけするなどして、入浴の支援をしている。 **(外部評価)** 入浴がすすまない方には、ご家族に入浴を促す声かけをしてもらうこともある。入浴時に、職員とのおしゃべりを楽しみにされている方もおられる。		
58		○安眠や休息の支援 　一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	**(自己評価)** 日中・夜間を通してご本人のペースで就寝して頂くように心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 　張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	**(自己評価)** 一人ひとりの得意なこと、出来ることをして頂けるように声かけしている。 **(外部評価)** 個別で、以前から読んでいる新聞を取っている方がおられる。日中、外でお茶の時間を楽しむこともある。パズルや塗り絵をされる方もいる。	 ※	 さらに、利用者個々の興味のあることや生活歴等を活かした取り組み等も期待される。職員は、利用者と楽しめるような機会を増やしたいと考えておられた。
60		○お金の所持や使うことの支援 　職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	**(自己評価)** ご家族からお金を預かり、事業所が管理している場合でも外出や買い物の時はご自分で払って頂けるようにお金をお渡ししている方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
61	25	○日常的な外出支援 　事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	**(自己評価)** ご本人の希望に応じて、散歩したり畑に収穫に出られたりしている。戸外での活動を増やし、季節を感じられるようにしている。		
			(外部評価) 外出を好まれる方へは積極的に支援されている。散歩に出かけられたり、車を使って外出されることもある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 　一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	**(自己評価)** ご本人の希望に応じて、ご家族の協力を得ながら、実現できる方法を法人全体で支援している。		
63		○電話や手紙の支援 　家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	**(自己評価)** ご本人の希望に応じて支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 　家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	**(自己評価)** 面会時間などは決めておらず、いつでも気軽に立ち寄って頂けるように心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 　運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	**(自己評価)** 身体拘束しないケアを出来るかぎり取り組んでいる。転倒等の理由により、ベッド柵などの必要な場合は、ご家族と相談の上同意を頂いている。また、随時見直しをしている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 　運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	**(自己評価)** 安全の為、夜間のみ施錠している。日中、外に出られる方には声かけしながら同行している。 **(外部評価)** 玄関には鍵をかけず、職員は見守りをされている。		
67		○利用者の安全確認 　職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	**(自己評価)** 日中・夜間を通してリビング近くで記録するなどして安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 　注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	**(自己評価)** 注意の必要な物は、一人ひとりの状況を考慮しながら対応している。		
69		○事故防止のための取り組み 　転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	**(自己評価)** ヒヤリハット報告を作成し、情報の共有に努めている。また、事故対策委員会を作り法人全体として取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	**(自己評価)** 緊急時のマニュアルを作成している。法人全体として、取り組んでいる。	※	ミーティング時や外部研修に積極的に参加しながら、夜勤時の緊急体制を整えたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	**(自己評価)** 事務所内に避難方法掲示し、日頃から話しあうようにしている。	※	地域の避難訓練・消防訓練に参加し、緊急を要するときは近隣からの協力を得られる体制になっている。
			(外部評価) スプリンクラーを設置されている。避難方法や法人との協力体制について話し合われている。	※	さらに、利用者・ご家族の安心と安全のためにも災害時やいろいろな場面を想定して、訓練を重ねていかれることが期待される。又、そのような取り組みをご家族にも報告されてほしい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	**(自己評価)** グループホームとしての取り組みを理解して頂けるようご家族に説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	**(自己評価)** 日々のバイタルチエックをし、「いつもと違う」ことへの気づきを大切にしている。状況により、ご家族と相談しながら受診等にも対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
74		○服薬支援 　職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	**(自己評価)** 一人ひとりの服薬ファイルや医療記録をしている。		
75		○便秘の予防と対応 　職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	**(自己評価)** 食物繊維を多く取り入れながら、個々の能力に合わせた運動を行うようにしている。		
76		○口腔内の清潔保持 　口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	**(自己評価)** 毎食後、声かけ・見守りしながら、また介助にて口腔ケアをしている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 　食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	**(自己評価)** 食事や水分の摂取状況を記録し、職員間で共有している。また、栄養士に随時チエックをしてもらっている。 **(外部評価)** 畑で採れた新鮮な野菜等も使用して食事を作っておられる。又、散歩や入浴の後、水分補給に努められ、10時のおやつ時にはお好きな飲み物を飲んでいただけるよう支援されている。		
78		○感染症予防 　感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	**(自己評価)** 感染症対策マニュアルを作成している。法人全体としても取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
79		○食材の管理 　食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や布巾は漂白したり、日によっては日光消毒をしている。		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **(1) 居心地のよい環境づくり**					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 　利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先にはベンチを設置し、庭先でお茶を飲んだり出来るようになっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 　共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日々の生活の中で心地よく感じてもらえるような音楽をかけたり、自然の光や風を取り入れるようにしている。 (外部評価) 折り紙でアジサイの花を利用者と作り、飾っておられた。又、七夕の笹飾りが飾られていた。	 ※	 さらに、利用者の年代の方の居心地のよい空間について、この機会に職員で話し合ってみてはどうだろうか。利用者・ご家族の意見等も聴いてみてはどうだろうか。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 　共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや畳コーナーなど、自由に過ごせるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項　　目	取組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 　居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	**(自己評価)** ご本人・ご家族と相談しながら馴染みの物や好みのものを置いて頂いている。畳屋や布団の好きな方には、フローリングの上に畳を敷いている。		
			(外部評価) 居室の入口に、それぞれ柄の違うのれんをかけておられる。テレビや鏡を置いておられる方もうかがえた。		さらに、利用者が居心地よく過ごせる空間作りへの工夫が期待される。ご本人がこれまで暮らしていたお部屋の雰囲気やしつらえを探り、相談しながらすすめてみてはどうだろうか。
84		○換気・空調の配慮 　気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	**(自己評価)** 季節や外気温、入居者の方の体調や希望に応じて室温の調整をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 　建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	**(自己評価)** トイレ・廊下・浴室には手すりを設置している。廊下も車椅子、シルバーカーどちらでもゆったり移動できるようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 　一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	**(自己評価)** 一人ひとりの目線や立場に合わせた環境になるようにしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 　建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	**(自己評価)** 玄関先のベンチはお茶を飲んだり、一息つける場所になっている。		

Ⅴ．サービスの成果に関する項目

項　　目		取り組みの成果 （該当する箇所を○印で囲むこと）	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1ほぼ全ての利用者の (自己　②利用者の２/３くらいの 評価）3利用者の１/３くらいの 4ほとんど掴んでいない	日々の会話の中から、思いや願いを把握するようにしているが、全員ではないと思う。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある (自己　2数日に１回程度ある 評価）3たまにある 4ほとんどない	隣に座り一緒に工作したり、ゲームや会話をしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1ほぼ全ての利用者が (自己　②利用者の２/３くらいが 評価）3利用者の１/３くらいが 4ほとんどいない	食事・入浴・更衣等一人ひとりのペースで生活出来ていると思う。介助の必要な方の場合は、待って頂く場面もあると思う。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1ほぼ全ての利用者が (自己　②利用者の２/３くらいが 評価）3利用者の１/３くらいが 4ほとんどいない	出来ることは時間がかかってもして頂くようにしている。「出来る」ということが自信になっていると思う。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1ほぼ全ての利用者が (自己　②利用者の２/３くらいが 評価）3利用者の１/３くらいが 4ほとんどいない	見守りや介助の方も多く、それぞれの場所へは出来ていないと思う。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が (自己　2利用者の２/３くらいが 評価）3利用者の１/３くらいが 4ほとんどいない	日々のバイタルチェックの他、食事・排泄・服薬管理なども含めて安心に生活している。気になることがあれば、その都度受診や相談にて対応している。
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が (自己　2利用者の２/３くらいが 評価）3利用者の１/３くらいが 4ほとんどいない	複合施設としての強みで、多職種の支援を受けながら安心して生活してもらっていると思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	1ほぼ全ての家族と (自己　②家族の２/３くらいと 評価）3家族の１/３くらいと 4ほとんどできていない	連絡困難なご家族もいる為、全員ではないと思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1ほぼ毎日のように (自己　2数日に1回程度 評価）③たまに 4ほとんどない	法人全体としては訪問して頂いているが、グループホーム独自では今後の課題だと思う。

項　　目		取り組みの成果 （該当する箇所を○印で囲むこと）	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) １大いに増えている ２少しずつ増えている ③あまり増えていない ４全くいない	不定期開催になっている。今後、近隣の方や地元の関係者とのつながりを深めていきたいと思っている。
98	職員は、活き活きと働けている	(自己評価) ①ほぼ全ての職員が ２職員の２/３くらいが ３職員の１/３くらいが ４ほとんどいない	開設当時からの職員が多数いる為、チームワーク・コミュニケーションともに良く取れている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) １ほぼ全ての利用者が ②利用者の２/３くらいが ３利用者の１/３くらいが ４ほとんどいない	個々の性格や体調に合わせた支援について職員間で話し合いしている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) １ほぼ全ての家族等が ②家族等の２/３くらいが ３家族等の１/３くらいが ４ほとんどできていない	面会時には、積極的にお話をお伺いするようにし、ご家族の意向を把握するように努めている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

海も山も近く自然に恵まれた場所にあります。散歩をすれば潮風も香り、全体的にのんびりしたグループホームです。

人生の大先輩としてゆったりとした環境の中で、笑顔とその人らしさを表現出来るように一緒に過ごす時間を大切にしたいと思っています。

複合施設としての強みも発揮しながら、地域の中で福祉のプロになりたいと思っています。